

しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり
市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成 29 年 9 月 20 日

いわき花火大会を開催

いわき花火大会実行委員長 正木 好男

本年の海遊祭、いわき踊り小名浜大会、そして花火大会と全てが無事に終了することが出来ました。改めて支えて頂いたスタッフの皆さん、そしてご協賛金を頂きました多くの企業と市民の方々に御礼を申し上げます。「夜空に魔法を」をテーマにしました花火大会は如何でしたか。いわき市のイベントの中で最もスケールが大きい、ボランティア活動での開催領域を遥かに超えたイベントです。この大会を64年の長きにわたり継続させてきたことに対して、関係する多くの方々に改めて敬意を表する次第です。

来年は、会場周辺の環境が大きく変わりますが、来場される皆さんのご期待に応えるべく、スタッフ一同頑張つて参ります。

市民の皆様引き続きのご理解とご支援をお願い申し上げます。



花火委員長
上野台 祐一

今年のいわき花火大会は台風の影響や高波などで開催が危ぶまれましたが、無事盛大に開催することができました。

大会当日は風向きも良く天候にも恵まれ、多くの人出の中、1万2000発すべての花火が小名浜港の夜空に打ち揚がりました。沖の防波堤をワイドに使ったオーブンング花火や

スペシャルスターメイン、フィナーレ、グラインドフィナーレ、1号埠頭からの創作花火やそれぞれの思いで打ち揚げる市民花火を、来場した多くの方々のお目にかけることができました。

昨年の大会終了時から構想し準備してきたものを予定通り行うことができたのは、協賛していただいた企業や各関係機関、多くのボランティアの方々のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。

来年も盛大に開催できるよう努力してまいりますので、引き続きご協力ご協力の程よろしくお願いいたします。

海遊祭委員長
柳葉 周作

おなほま海遊祭、本年も多くの皆様のご協力によりまして、成功裏に終了することが出来ました。

2日間のイベント期間中は奇跡的に天候も回復し、おなほま海遊祭一番の企画であります、「キッズボートジェットスキー及び、バナナボートの体験乗船」等には、昨年より多くの皆様にご参加頂きました。

イベントを体験して頂いた皆様に「小名浜の海に合っていたら、笑顔になつてもらおう」という目標が達成できました。

関係スタッフ、関係機関及びボランティアの皆様方のご支援ご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

いわきおどり委員長
作山 勝広

当日は少し涼しいものの天候に恵まれ、おどり日和となりました。

会場は昨年同様のエリアで小名浜大会を開催いたしました。

今年は、若干おどり手が少なく心配しましたが、逆に多くの観客の方々が沿道を埋め尽くし、昨年以上の賑わいを感じました。

また、会場は電柱が無く、おどり手の皆様も今まで以上に華やかに見え、衣装映えのする小名浜らしい、いわきおどりになったと思います。

来年も参加人数に制限がありませんので、数多くの団体のご参加をお待ち申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたり関係各位、沿道の住宅及び事業所様のご理解とご協力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

7月全体会議

7月27日(木)、まちづくりステーション小名浜にて7月全体会議が行われました。今回は講師にいわき市創生推進課の新妻英正氏をお迎えし、「共創のまちづくり」についてお話しいただきました。

「共創のまちづくり」では「いわき市以和貴まちづくり基本条例」を制定し、市民と市が課題・資源、それぞれの役割について認識を共有し、まちづくりに主体的に参画する市民と施策を策定・実施する市が連携したまちづくりを目指し、それによって行政がまちを作るのではなく、市民がまちを作り上げるのが主流になっていくだろう、と新妻氏は話します。

「共創のまちづくり」は具体的な取り組みが3つに分かれており、まず「ミッション」の共有。これは課題共有・提案反映の促進が狙いで、これまでは市民ブレゼン大会や道路通報サービスに取組み、今後はまちづくりアイデアポストやスマホを使った「スマレ



ポいわき」を運用していくようです。2つ目は「パツ

シオン」の共有。これは主体的な参画が狙いで、これまではまち・未来創造支援事業や被災沿岸地域まちづくり推進事業を行っており、今後は公民推進モデル事業やいわき市と共に創る道づくり事業を行っていく予定です。

3つ目は「コラボレーション」。これは枠組・制度構築による相互連携の促進が狙いで、これまでは各種連携協定の締結や市街化調整地区における地区計画制度を活用した宅地供給や、市営住宅の借地返還を行っており、今後は廃校施設の利活用及び人材育成や人材還流のための「いわきアカデミア」に取り組むようです。

これらには更に様々な予算立てがされており、ふるさといわきの力強い「復興」に向けた取り組みを最優先で進めるほか、更なる50年に向けた魅力あふれるいわきの「創生」に取り組む様々な人たちが連携する「共創」のまちづくりをより一層進めていく、新妻氏の力強い語り口が印象的な7月の全体会議でした。

小名浜まちづくり市民会議員の皆様へ
9月全体会議を開催します
9月21日午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階において、開催します。
詳しいお問合せはマチステまで。

熱い思いが 育んだ大会の歴史

海の安全祈願祭で 打ち上げられた花火

いわき花火大会のはじまりとなったのは、昭和29年に開催された第1回磐城市港まつりだと言われています。この年、当時の小名浜町・江名町・泉町・渡辺村が合併して磐城市となり、その誕生を記念して港まつりが開催されました。まつりの内容は海の安全祈願祭や陸上パレードなどで、中でもパレードは年々華やかになり、自衛隊の音楽隊パレードや航空自衛隊によるジェット機飛来などが行なわれた年もあったようです。当時は皇太子・妃殿下がご成婚されて間もない頃で、お二人が出席された全国放魚祭も行なわれました。

港まつりの中で、海の安全祈願祭などで花火が打ち上げられました。この当時は、総予算50万円という規模のものでしたが、これをきっかけに、その後少しずつ形を変えながら、現在のような花火大会へと受け継がれてきたのです。



▲第60回を迎えた際の大会プログラム

浴場で、その後三崎公園で第6回までを開催したあと、第7回以降は小名浜港沖防波堤にて開催されています。

小名浜の名を広めた 全国花火競技大会

港まつりと同時に始まった花火大会が、全国花火競技大会として開催されるようになったのは昭和38年のことです。その2年前、それまで本宮町で開催されていた競技大会がその年で中止となるため、磐城市で開催してはどうかという提案を受けました。当時の磐城市長や市議などが本宮町の花火大会を視察し、内容や受け入れ体制、打ち上げ花火の手順などをその目で確かめ、実現に向けて準備に入りました。そして翌年、関東東北花火大会が小名浜で開催されました。

市民の手による 真夏の夜の風物詩

さらに翌年の昭和39年、記念すべき第1回全国花火競技大会が開幕したのです。大会は3部構成で、7寸5発コンクール、尺玉コンクール、仕掛花火コンクールの部に分かれていて、全国から花火師が集まり、その腕を競いました。

いわきの夏を彩るいわき花火大会は、行政主体ではなく、市民が実行委員会を組織し、協賛企業等を募って準備を進めます。全国的に見ても、市民が主催する大規模な花火大会は珍しいようです。

花火と音楽をシンクロ させた創作花火

こうして本格的に始まった小名浜の全国花火競技大会は、第1回から第3回までは当時の小名浜海水浴場で、その後三崎公園で第6回までを開催したあと、第7回以降は小名浜港沖防波堤にて開催されています。

小名浜学事始め

『小林研一郎作曲・ いわき市歌』

いわき市の誕生日は、昭和41年(1966)10月1日です。5市4町5カ村が合併して日本一広い面積をもつ市ができました。合併前の小名浜は「磐城(いわき)市」でした。昨年(2016)は、50歳市制施行50周年になったことから市内各所で様々な催しがありました。

このこと小林研一郎(当時は東京芸術大学在学中)氏が作曲したものです。作詞・作曲ともに公募で、作詞は乗田まさみさん、作曲が詩人・草野心平さん、補曲編曲が作曲家・渡辺浦人さんのシンボルマーク「市章」は市制1周年を記念してつくられました。

『いわき市歌』は、小名浜出身の世界的な指揮者コバケ



▶いわき市HPより掲載

第64回いわき花火大会フォトコンテスト作品展

期間：9/25(月)～10/2(月)
場所：タウンモールリスポ センターコート
※表彰式は10/1(日)15時から

『小名浜みなと学』受講者募集のお知らせ

小名浜の港や海について楽しく学べる『小名浜みなと学』が開講します。

今年度は10月から2月まで毎月1回、計5回の講義の予定。受講を希望される方は、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、職業、年齢、電話番号、受講希望講座(回)を明記の上、小名浜支所市民課(TEL:54-2111/FAX:92-1693 MAIL: onahama-shimin@city.iwaki.fukushima.jp)へ申し込んでください。申込期限は10/13(金)まで。

- 【第1回】10/28(土)「船から望む小名浜港」国交省小名浜港湾事務所～海上
- 【第2回】11/18(土)「船と信号」いわき海星高校
- 【第3回】12/16(土)「無線と漁業」福島県漁業無線局
- 【第4回】1/20(土)「江名の漁業・商い・まちなみ」江名港周辺
- 【第5回】2/17(土)「小名浜地域の歴史・文化」いわき・ら・ら・ミュウ

小名浜まちづくり 市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜)

TEL：52-1275 FAX：52-1415

http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp

